

# 「流通BMS」アンケート集計結果

2012年1月~7月、小売業162社アンケート

作成者：「流通BMS普及推進事業 スマクラ」事務局

2012年9月21日

## 調査概要

## 調査結果サマリ

### 1. 流通BMS取組み動向

流通BMS取組み動向【年商カテゴリ別】

流通BMS取組み動向【東西別】

流通BMSへの期待効果

流通BMS導入の阻害要因

### 2. 現状EDI利用状況

【年商カテゴリ別】EDI利用状況（Web-EDI）

【年商カテゴリ別】EDI利用状況（FAX）

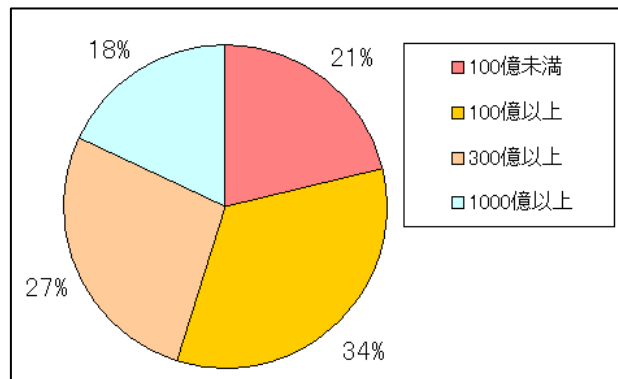
【年商カテゴリ別】EDI利用状況（物流センター）

【年商カテゴリ別】EDI利用状況（伝票入力の外部委託）

【年商カテゴリ別】EDI利用メッセージ

- 1)調査対象:小売業のEDI担当者及び関係者
- 2)調査時期:2012年1月～7月
- 3)調査方法:紙によるアンケート形式
- 4)調査元:「流通BMS普及推進事業 スマクラ(※①)」事務局
- 5)調査サンプル数:162社サンプル

●年商規模



●本社所在地

都道府県	回答割合	合計社数
東京	23%	37
大阪	11%	18
神奈川	7%	12
愛知	6%	10
広島	5%	8
北海道、富山	4%	12
埼玉、新潟、兵庫、福岡	3%	20
栃木、茨城、千葉、石川、長野、愛媛	2%	19
福島、群馬、山梨、岐阜、静岡、京都、島根、佐賀、大分、秋田、山形、滋賀、鳥取、岡山、山口、熊本、鹿児島	1%	26
		162

## ※①「流通BMS普及推進事業 スマクラ」について

流通BMS普及推進事業の柱は、普及推進事業とサービス提供事業の2つがあります。普及推進事業として、全国主要都市で「普及推進説明会」を開催し、サービス提供事業として、共同インフラとなるEDIプラットフォーム「スマクラ」を準備しました。

【スマクラ】正式名称は、スーパーマーケット・クラウドEDIサービス。(サービス提供事業者:SCSK株式会社)  
受発注システムを多くの小売業様で共同利用する事を前提にクラウド化することで、ローコスト提供を可能にしました。

【スマクラ導入済みの企業】(株)セイミヤ、サミット(株)、(株)ヤオコー

【スマクラ採用・導入中の企業】(株)カスミ、(株)東急ストア、(株)与野フードセンター

## 1)流通BMS取組み動向

**小売業の48%が、3年以内に導入。**(導入済み・導入予定が、31%から48%に増加)

**年商別には、大手・中堅企業が牽引。**(全体48%に対し、年商1000億超では63%、300億以上では51%)

**地域別には、東高西低の様相。**(全体48%に対し、東日本では51%、西日本では39%)

## 2)流通BMSへの期待効果

**業務効率化への期待が高い。**(トップ2は、「伝票レスの実現」58%、「請求・支払照合の効率化」42%)

**大手企業ほど、システム効率化を期待。**(「通信時間の短縮」や「通信コスト削減」を期待)

**中小企業ほど、業務効率化を期待。**(「伝票レスの実現」や「請求／支払照合の効率化」を期待)

## 3)導入の阻害要因

**投資対効果を、いかに示すかが課題。**(阻害要因、「投資対効果が見えない」69.8%が、突出して高い)

**中小企業は、接続可能な取引先が少ない。**(全体43.2%に対し、年商100億未満では56.7%)

# 1. 流通BMS取組み動向

小売業の流通BMS、「導入済み」「導入予定」が、2011年10月の31%から、48%に増加。**流通BMSは急速に普及**している。「導入するつもりはない」は、17%から1%に減少。

急速な普及の背景としては、以下の3点が想定される。

- ①イオングループによる、2012年末までに従来方式から流通BMSへ完全移行すると表明
- ②2011年12月、消費財流通企業50社の「流通BMS導入・拡大計画」発表（製・配・販連携協議会）
- ③2012年1月より、流通4団体による「流通BMS普及推進事業(スマクラ)」の本格稼働。

流通BMS導入状況	2011年10月	2012年7月
「導入済み」「導入予定」	1. 導入済み 16% 2. 導入予定 15% <b>31%</b>	1. 導入済み 20% 2. サービス選定中 3% 3. 1年以内の導入 9% 4. 3年以内の導入 16% <b>48%</b> ↑
「導入したい（時期未定）」	3. 導入したいが時期は未定 42% <b>42%</b>	5. 調査中 51% <b>51%</b> →
「導入するつもりはない」	4. 導入するつもりはない 17% <b>17%</b>	6. 導入する意志が無い 1% <b>1%</b> ↓
「その他」	5. その他 8% 6. 「流通BMS」を知らない 2% <b>10%</b>	

※出典：流通BMS協議会  
「流通BMS導入実態調査」(N=134)  
(2011年9月～10月)

※流通4団体合同  
「アンケート」(N=162)  
(2012年1月～7月)

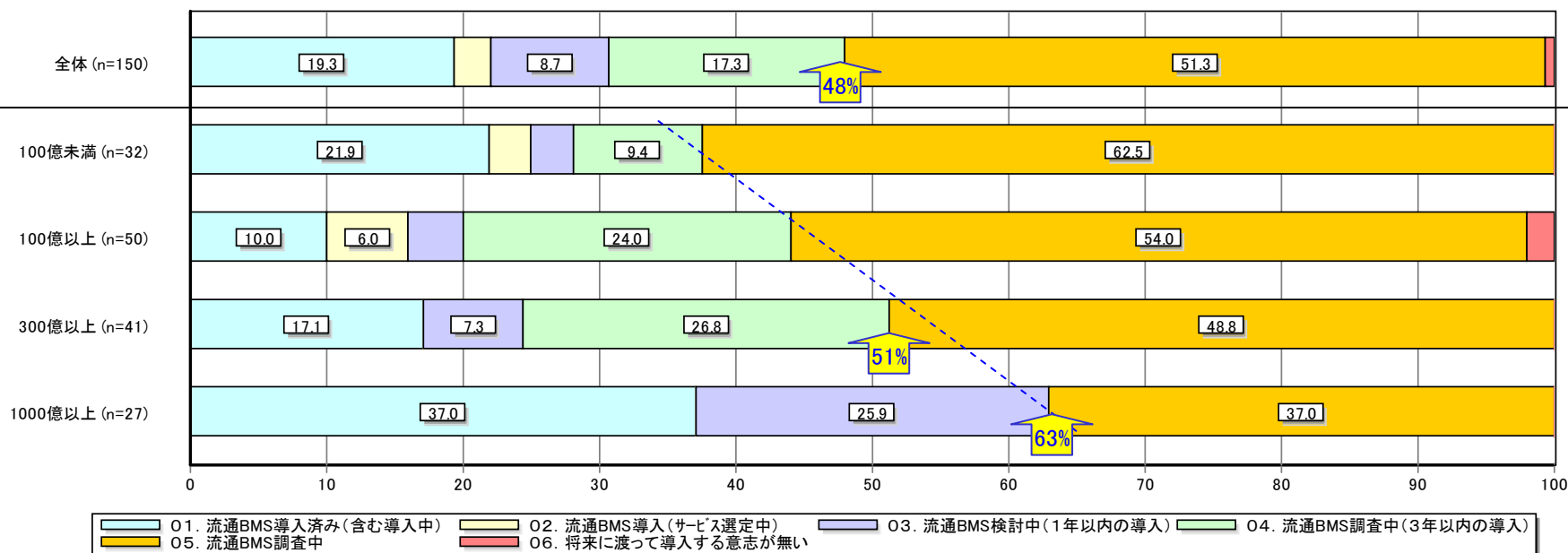
# 流通BMS取組み動向【年商カテゴリ別】



流通BMSの「導入済み」「導入予定」を、年商別に見ると、全体で48%に対し、年商1000億超では63%、300億以上では51%と、平均を上回り、**大手・中堅企業が牽引**している。

すべての大手企業は、「導入済み」「1年以内の導入」と回答があり、**1年以内に大手企業の導入は一巡**。  
 接続する取引先(卸・メーカー)が、加速度的に増える為、**3年以内に導入する中堅・中小企業の割合がより増加**すると推測される。

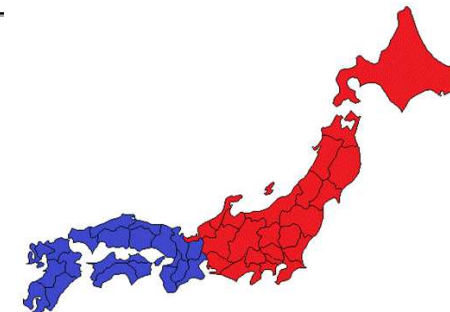
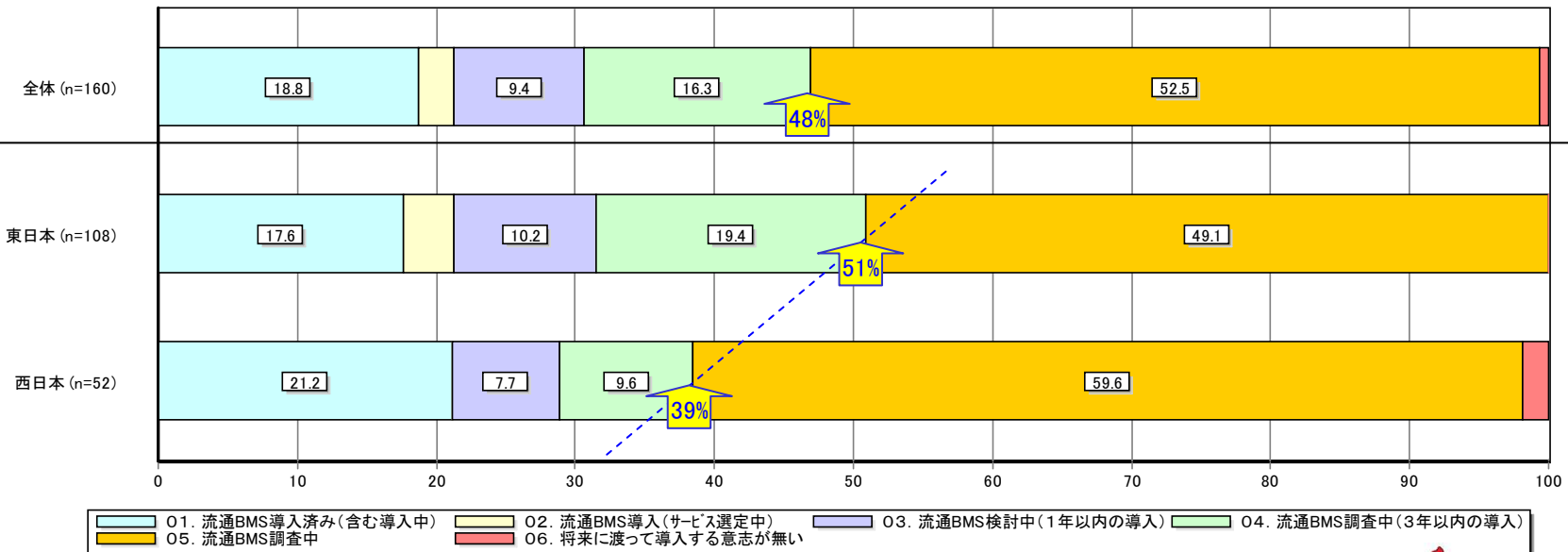
年商カテゴリ  
 × Q1. BMS検討状況



# 流通BMS取組み動向【東西別】

流通BMSの「導入済み」「導入予定」を、地域別に見ると、全体で48%に対し、東日本では51%、西日本では39%と、**東高西低の様相**を示す結果となった。

東西カテゴリ  
× Q1. BMS検討状況

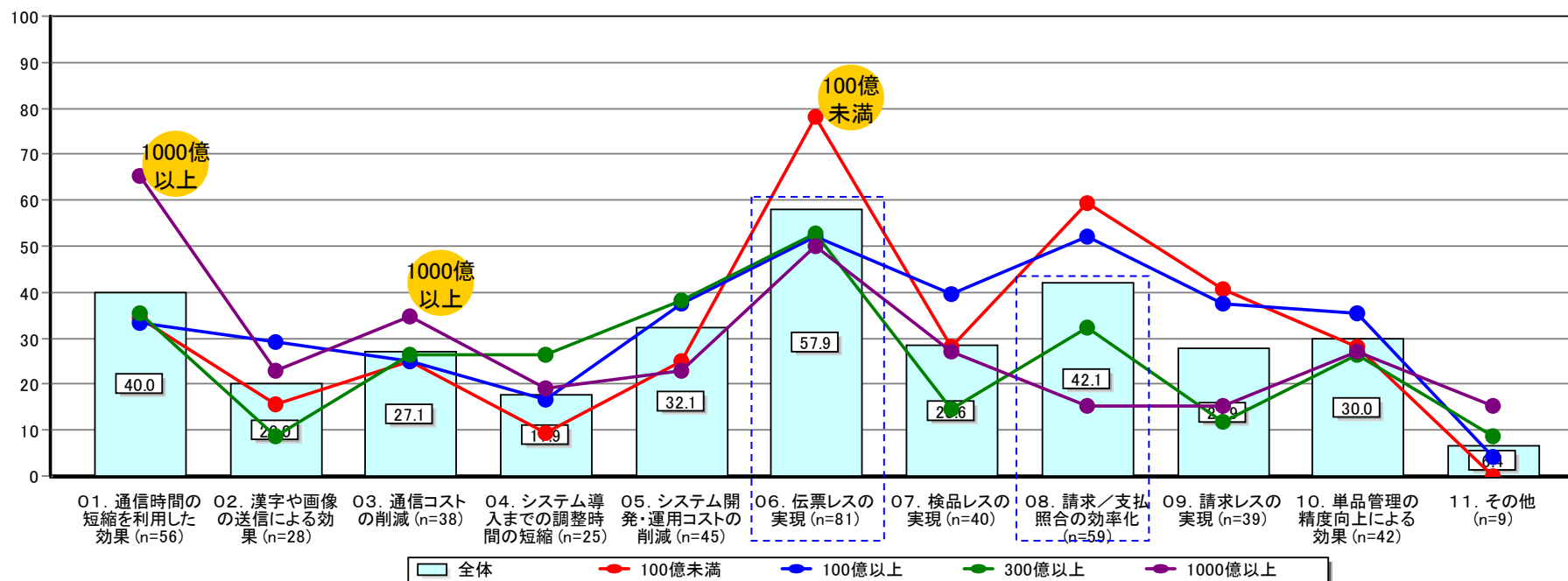




流通BMS導入効果への期待として、「伝票レスの実現」58%、「請求／支払照合の効率化」42%が多く挙がっている。いずれも、日々の取引伝票の多さに起因するもので、流通BMSによる業務全体の効率化が期待されている。

年商別に見ると、年商1000億超では、「通信時間の短縮」や「通信コスト削減」と、大手企業ほど、システム効率化を期待。一方、年商100億未満では、「伝票レスの実現」が突出しており、中小企業ほど、業務効率化を期待。

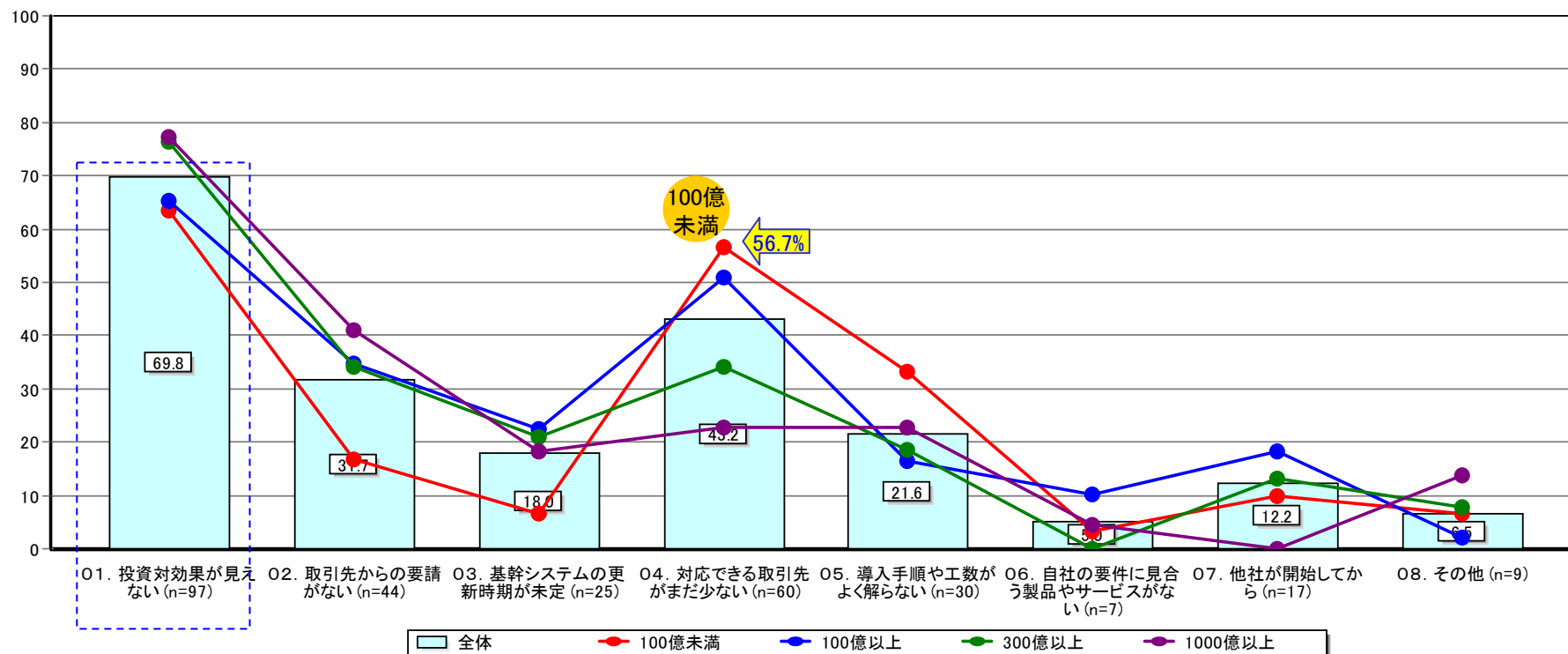
年商カテゴリ  
× Q2. BMS導入効果への期待



流通BMS推進の阻害要因として、「投資対効果が見えない」69.8%が、突出して高い。  
既に、経済産業省がまとめた効果算定のモデル式(平成21年度「流通BMS導入による効果算定事業」報告書)など公開されているが、それらの普及、さらにはより解りやすく「投資対効果」を示すかが、今後の課題。

年商別に見ると、年商100億未満では、「対応できる取引先が少ない」56.7%と高く、**中小企業は、接続可能な取引先がまだ少ない。**こちらについては、取引先が流通BMSへの移行を進める2012年以降、解消されるものと推測される。

年商カテゴリ  
× Q3. BMS推進の阻害要因

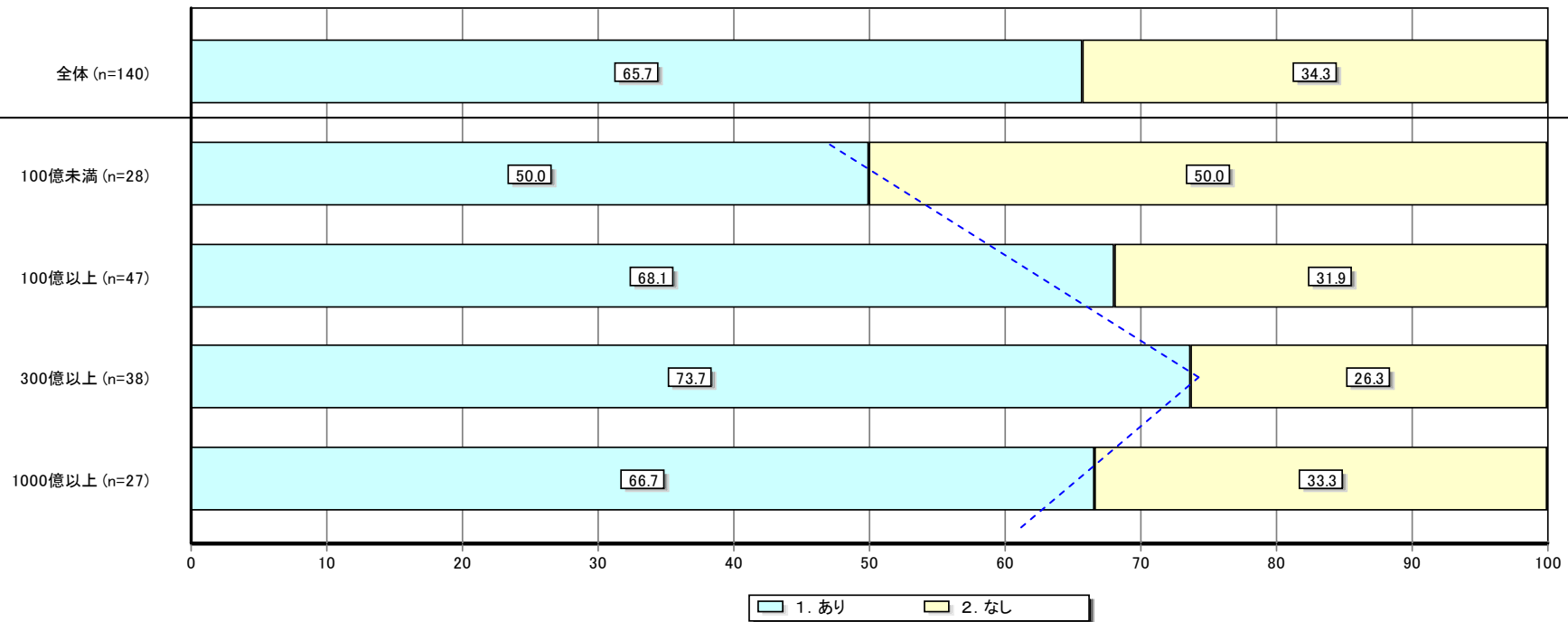


## 2. 現状EDI利用状況

# 【年商カテゴリ別】EDI利用状況 (Web-EDI)

全体の65%が、「Web-EDI」を、取引手段の1つとして利用している。  
年商別に見ると、年商300億以上で73%と、**中堅企業で最も広く利用されている。**

年商カテゴリ  
× Q4-2. EDI利用状況 (Web-EDIの利用)

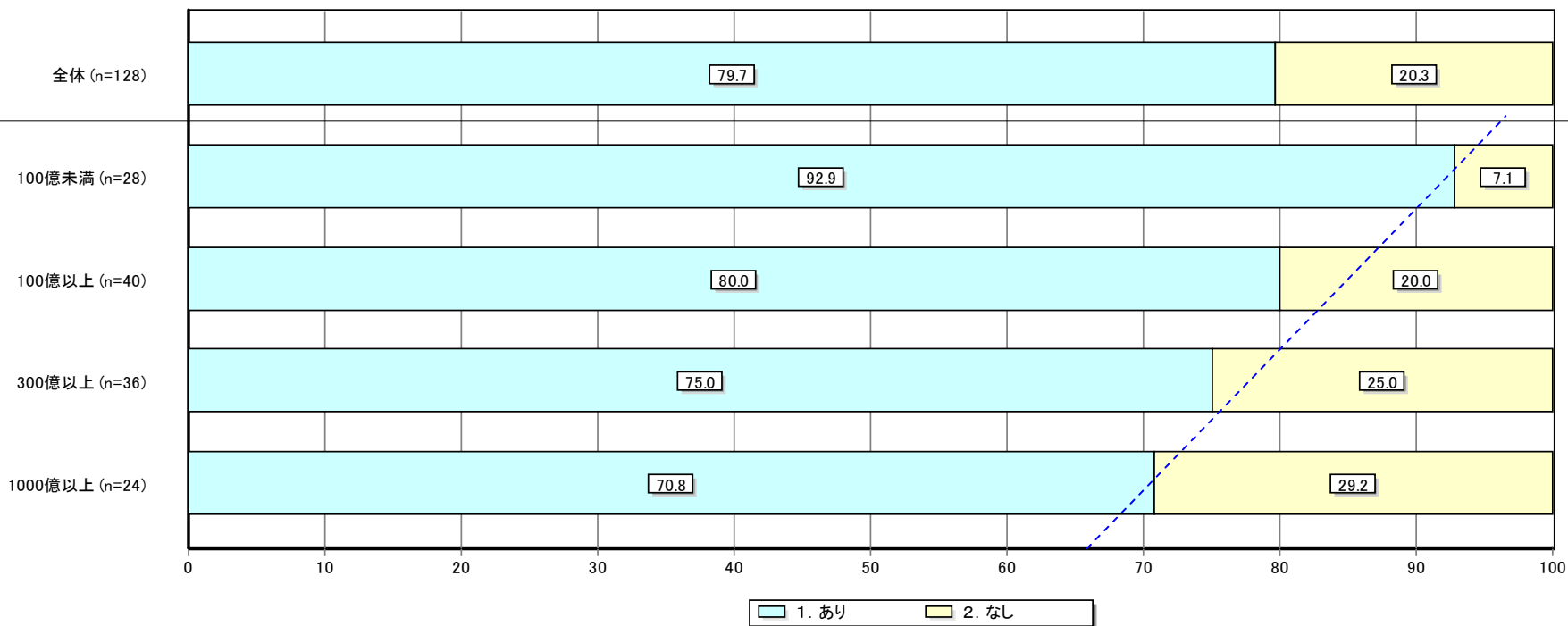


# 【年商カテゴリ別】EDI利用状況（FAX）

全体の79%が、「FAX」を、取引手段の1つとして利用している。

年商別に見ると、年商100億未満で92%、年商100億以上で80%と、中小企業ほど広く利用されている。

年商カテゴリ  
× Q4-6. EDI利用状況(FAX利用)



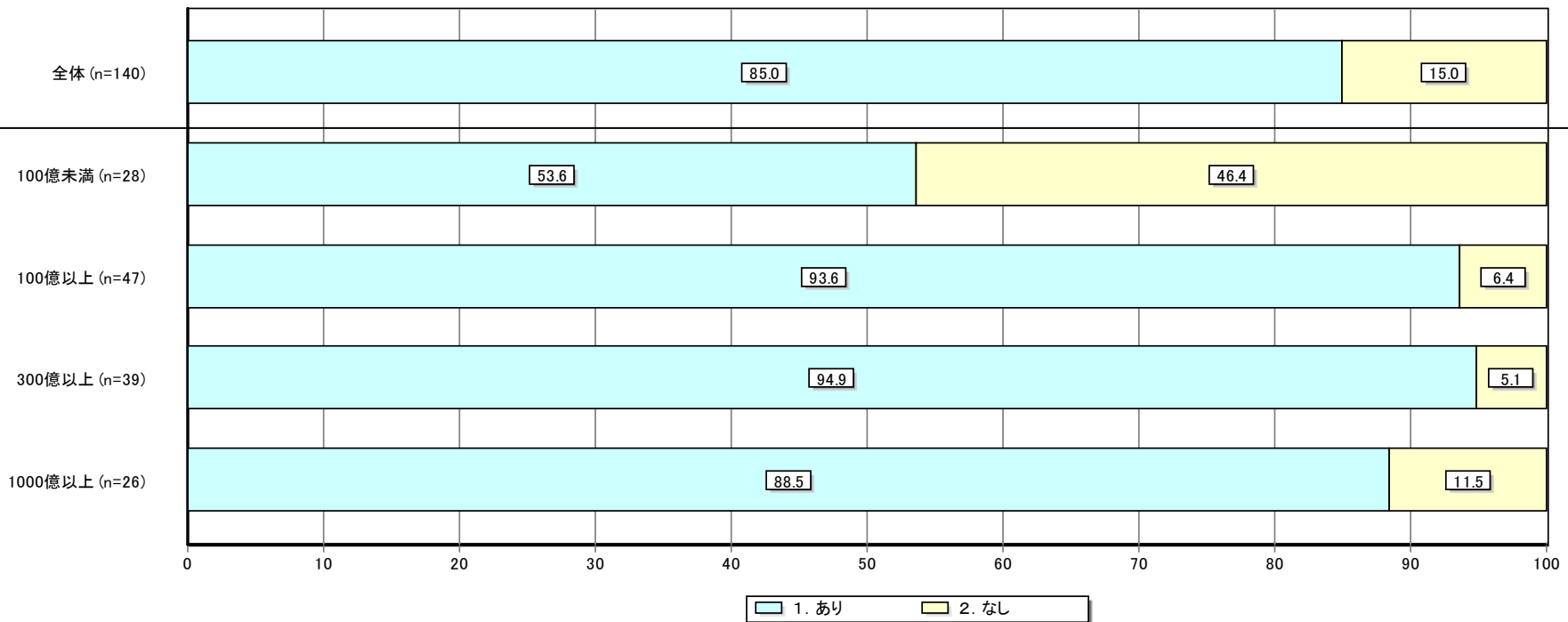
# 【年商カテゴリ別】EDI利用状況（物流センター）



全体の85%が、「物流センター」を利用している。

年商別に見ると、年商100億未満を除き、約9割と、**売上規模に関わらず広く利用されている。**

年商カテゴリ  
× Q4-3. EDI利用状況(物流センターの利用)

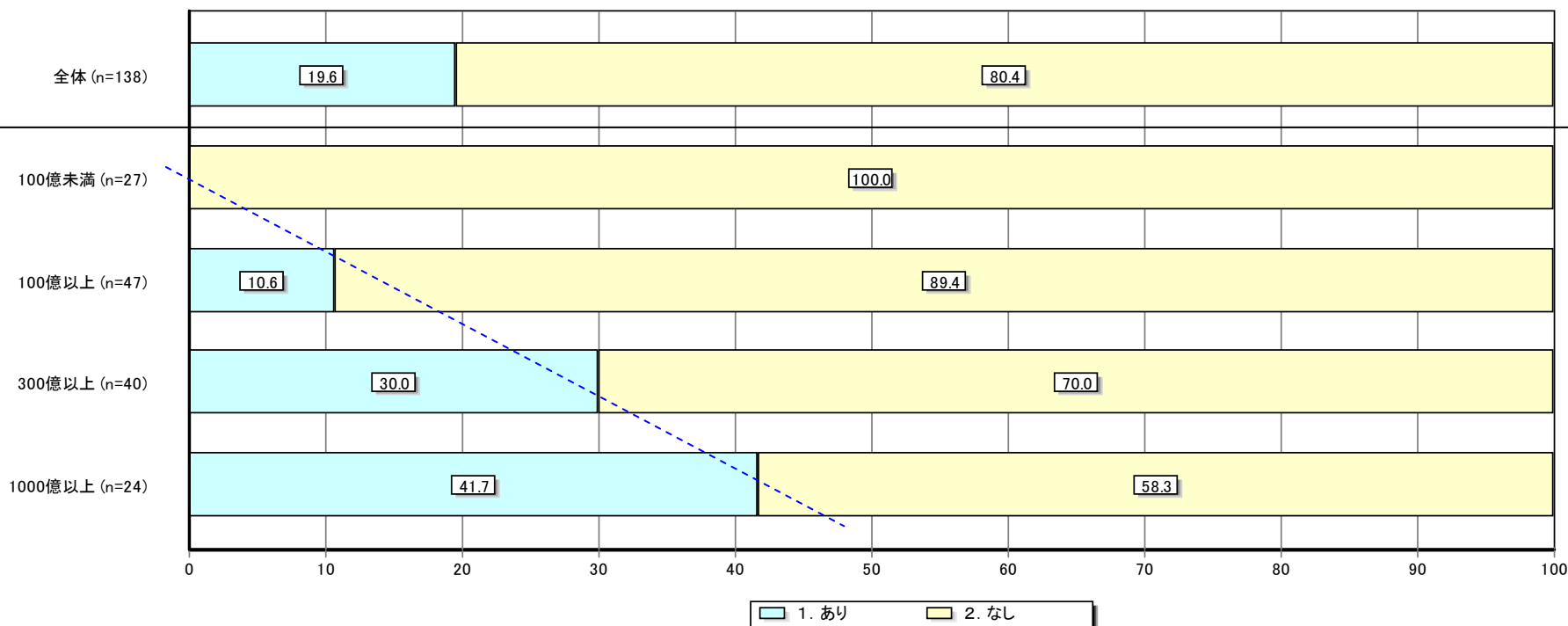


## 【年商カテゴリ別】EDI利用状況（伝票入力の外部委託）

全体の19%が、「伝票入力の外部委託」を、実施している。

年商別に見ると、年商300億以上で30%、年商1000億以上で41%と、**売上げ規模が大きくなるにつれて「伝票入力の外部委託」が増えている傾向。**

年商カテゴリ  
× Q4-7. EDI利用状況(伝票入力の外部委託)



## 【年商カテゴリ別】 E D I 利用状況（EDI利用メッセージ）

現状のEDI利用メッセージで、全体で70%を超えたのは、「発注～出荷」まで。

年商別に見ると、売上げ規模別に、レベル分けができるほど明確。売上げ規模が大きくなるにつれて「発注～出荷～受領～請求・支払」とメッセージ活用レベルが高い。

### EDI利用メッセージ（利用している%）

	全体	100億未満	100億以上	300億以上	1000億以上
発注	95.6%	88.9%	95.7%	100%	96.3%
集計表 作成	54.2%	43.5%	51.2%	51.5%	73.9%
出荷	75.8%	43.5%	80.0%	85.3%	84.6%
受領	69.3%	41.7%	61.0%	88.9%	80.8%
返品	52.8%	13.6%	63.6%	63.6%	54.2%
請求	41.0%	8.7%	35.9%	50.0%	68.0%
支払	62.4%	17.4%	56.1%	80.0%	88.5%

※青字：70%超